

令和元年度 益子町立田野中学校 学校評価報告書

1 教育目標

- | | | |
|----------|-------------|------------|
| 1 自ら学ぶ生徒 | 2 思いやりのある生徒 | 3 進んで鍛える生徒 |
|----------|-------------|------------|

2 学校経営の方針

教育の今日的課題やこれからの展望に立ち、将来の益子を担う心豊かでたくましい生徒を育てるため、全教職員がそれぞれの職務を自覚し、「知・徳・体」のバランスのとれた生徒の育成に努める。

- 1 教育公務員としての誇りと使命感を自覚し、研鑽を積むとともに責任ある職務の遂行に努める。
- 2 一人一人の生命と人権の尊重を基盤として、豊かな心を持ち、正しく判断して行動できる生徒の育成に努める。
- 3 生徒・保護者・教職員の互いの信頼関係のもとに、集団規律とそれぞれの個性の伸長を図る教育活動の推進に努める。
- 4 家庭や小学校、地域社会との連携を深め、『協働』の学校づくりを推進し、自尊感情の高い生徒の育成に努める。

3 今年度の重点

1 学習指導の改善・充実

- (1) 主体的な学習活動の重視と指導法の工夫・改善及び、学び方の学習
- (2) 分かる授業の推進
- (3) 家庭学習の充実（学習習慣の定着）
- (4) 特別に支援の必要な生徒に応じた取組（校内支援委員会＝学年を超えた支援）

2 心の教育の充実

- (1) 「特別の教科 道徳」の時間・読書活動の充実
- (2) 違いを認め、思いやりの心を育てるいじめのない学級・学校づくり（居がいのある学級づくり）
- (3) 勤労生産・奉仕活動を通しての自主的・実践的態度の育成
- (4) 学校組織の機能を生かした生徒指導
- (5) 人権感覚の高揚と望ましい人間関係の育成

3 保健・安全教育の推進

- (1) 性教育を含む保健・安全教育の充実と薬物乱用防止教育の推進
- (2) 保健・安全管理の徹底と事故防止
- (3) 部活動の枠を超えて全校体制で進める体力づくり
- (4) 危機管理能力の育成（未然防止・危険予知・危機回避能力の育成）

4 自主・自立の精神と社会性の育成

- (1) 自立心と社会性の育成
- (2) 発達段階を考慮した系統性のあるキャリア教育・進路指導の充実

5 地域に根ざした教育の推進

- (1) 地域の自然、文化などの地域の強みの理解と地域プライドの醸成
- (2) 学校から保護者・地域等への積極的な情報発信
- (3) 「地域連携教員」の地域への周知とコーディネーター機能を活かした地域との連携

4 評価表

※アンケート・教職員評価の肯定的意見（A…80%以上、B…60%以上80%未満、C…40%以上60%未満、D…40%未満）
 ※アンケート結果の生徒及び保護者欄の数字は%、+・-・±は昨年度との比較（無記入は比較項目なし）

学校自己評価							学校関係者評価	改善策
重点	評価項目	主な具体的取組	アンケート結果		教職員評価	達成状況と課題		
			生徒	保護者				
1 学習指導の改善・充実	(1)(2)(4) 分かる授業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある授業の展開と基礎 基本の定着 授業アイデア事例集の活用 T・Tによる分かる授業の実践 学習状況調査結果の分析と対策 問題事例集、チャレンジシートを活用 	A 96 +1	A 81 +6	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって分かる授業が展開されている。今後も、主体的・対話的で、深い学びの実現に向けた授業改善を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かる授業の推進については、生徒も高い評価をしており、今後も各種取組を継続して欲しい。 家庭学習については、個人差に対応するため、課題の出し方について検討し、学校として統一してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合い活動」の充実による表現力の育成を図る。 ICT機器を積極的に活用し、分かる授業の推進を図る。
	(3) 家庭学習の充実 (学習習慣の定着)	<ul style="list-style-type: none"> 自主学习ノートの工夫・やり方指導 	B 70 -4	B 69 -8	A	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み方に個人差があり、個別指導の充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導の機会を確保する。 家庭での学習の在り方について検討し、保護者との連携を強める。 	
2 心の教育の充実	(1) 読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 朝の読書の充実 家読の充実 	A 94	D 29	A	<ul style="list-style-type: none"> 家庭への働きかけが一層必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 心の教育については、生徒の評価が高く、生徒と教職員の信頼関係が構築されていることが分かる。 家庭での読書の推奨の仕方については、見直し・改善の必要がある。 いじめの問題については、SNSを介したトラブルをよく耳にする事があり、今後もいじめ対策の充実をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での読書の充実に向け、読書デーや強化週間等を設定する。
	(1)(2) 違いを認め、思いやりの心を育てる いじめのない学級 ・学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会「いじめ0宣言」の具体的な行動 	A 96 -1	A 87 -6	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のいじめ防止に対する意識化が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒総会の場で、「いじめ0宣言」を行ない、意識の高揚を図る。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 宿泊学習・マイ・チャレンジ体験活動・修学旅行の充実 	A 86 -3	A 85 +1	A	<ul style="list-style-type: none"> 各種行事が、生徒の絆づくりの場となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による主体的な活動となるよう、リーダー育成の場とする。 	
	(3) 勤労生産・奉仕活動を通しての自主的・実践的態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 親子奉仕作業（PTAとの協力） 地域クリーン活動（校外生徒会） ボランティア活動及び募金活動 	A 94 -1	A 90 -3	A	<ul style="list-style-type: none"> 清掃や係活動、福祉活動への積極的な取組が見られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種取組の趣旨を生徒と教職員で共有し、奉仕や福祉の心を育てる。 	

(4) 学校組織の機能を 生かした生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談週間の充実（生活についてのアンケート、いじめ悩み調査） ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携 ・家庭との連携（家庭訪問等） 	A 91 -2	A 86 +1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と教師の信頼関係の構築がなされているが、問題の解消中の事案もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の悩みや問題行動等の解消に向けて、チームによる支援の充実を図る。
(5) 人権感覚の高揚と 望ましい人間関係 の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の実践（授業・現職教育） ・小中連携大縄跳び大会 	A 95 +10	A 92 -1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人権意識の高揚が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と教職員が共に人権感覚を磨いていこうとする雰囲気醸成する。

3 保健 ・ 安全 教育 の 推 進	(1) (2) (3) 保健・安全管理の 徹底と事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会の開催 	A 92 -3	A 96 +3	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりや約束事を守りながら生活することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理については、生徒も保護者も高い意識をもっていることが分かる。 ・事件・事故、自然災害等に備えることは、大変重要であり、各種訓練の充実を努めて欲しい。特に、自然災害については、放送機器が使えなくなったり、用具や設備を上手に使えなかったりすることを想定して、訓練を実施することも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を定着させ、健康や体調の自己管理につなげる。 ・交通安全教室や立哨指導、パトロール等を行い、生徒の安全確保に努める。
		<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の安全確保（交通安全、防犯、性被害防止：PTAとの協力） 	B 79 -6	A 95 +4	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方々の協力を得ることができているが、施設の整備の充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって実践的な訓練の場となるよう、訓練形態の工夫に努める。 	
	(4) 危機管理能力の育 成（未然防止・危 険予知・危機回避 能力の育成）	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの活用 ・改善 ・避難訓練の実施 ・生徒主体で行う実践的訓練の開発 	A 99 -1	A 99 +5	A	<ul style="list-style-type: none"> ・危険の未然防止や予知、回避能力の育成が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田野っ子いきいきプランの活性化による地域ぐるみの安全対策を推進する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時からの関係諸機関との連携（けがの防止や健康管理等） 	A 95 +2	A 90 +1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や集会、行事等で得た知識を、日常生活に生かすことができている。 			
4 自 立 心 と 社 会 性 の 育 成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動、係活動の充実 ・生徒主体の活動の推進（運動会、白楊祭、立志のつどいほか） 	A 89 -10	A 97 +1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・企画の段階から生徒が関わる、生徒主体の行事運営の充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事への積極的な参加について、生徒の評価が若干低い学年がある。次年度に向けて行事の持ち方を検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事の企画の段階から生徒に関わらせ、達成感を実感できるようにする。 ・短時間で効果的な運営方法を確立する。 	

と 社 会 性 の 育 成	(2) 発達段階を考慮した系統性のあるキャリア教育・進路指導の充実	・生徒の実態に応じ、将来の進路を見通した計画的・段階的な指導	A 95 ± 0	A 93 +4	A	・多種多様な情報や体験活動を基に、進路指導が展開されている。	・将来の夢や目標について、家庭で話し合うことは大変意義のあることである。今後も生徒のよさを伸ばしていけるような指導・支援をお願いしたい。	・生徒自身が主体的に進路を選択できるよう、1年次から計画的に情報を提供する。
	・自己理解と適切な進路選択能力の育成	A 80 +6	A 88 -1	A	・多くの家庭において進路に関する話し合いが行われている。今後も、保護者会等での働きかけを重視する。	・家庭での話し合いが充実するように、学級活動で行っている進路学習の内容を発信する。		

5 地 域 に 根 ざ し た 教 育 の 推 進	(1)(3) 地域の自然、文化などの地域の強みの理解と地域プライドの醸成	・田野っ子いきいきプランの実践（あいさつ運動等）	A 94 -3	A 90 ± 0	A	・地域を挙げた取組が効果的に実践されている。	・地域との連携・協働による学校運営は、教育効果を上げる上でも重要である。今後も地域との積極的な関わり合いをお願いしたい。 ・地域と連携する上では、共働き世代の増加や価値観の多様化等により、課題も多いと思う。是非、課題の克服に努めて欲しい。	・生徒会組織を生かし、活動の充実を図る。
		・ボランティアによる創作活動への参加 ・地域活動への積極的な参加 ・地域クリーン活動（校外生徒会）	A 91 +9	B 77		・生徒の地域行事への参加に対する教師側の働きかけが必要である。		・活動内容や成果を積極的に発信することで、地域との連携の意義の周知に努める。
		・学校行事やPTA活動への参加		A 90 +1		・保護者は、学校との協働に対して理解があり、積極的に参加している。		・PTA活動の精選による負担軽減を図りながら、適切に実施していく。
	・地域性を生かした小中連携事業の充実			A	・学校運営協議会制度導入に向けての計画的な準備が必要である。	・学校運営協議会制度の導入に向けて、計画的に準備を進める。		
(2) 学校から保護者・地域等への積極的な情報発信	・田野中HP・学校・学年・学級だより	A 83 -9	A 93 ± 0	A	・地域とともにある学校づくりが推進されている。今後も積極的な情報発信に努める。※下校時刻の周知	・学校HPや各種たよりの意義を生徒に伝えると共に、家庭での会話のきっかけとなるよう内容を工夫する。		